

Dr.経費精算 使い方

(管理者用：会計データ出力形式)

株式会社BearTail
Dr.経費精算事業部

11. 会計データ出力形式

会計データをDr.経費精算から出力する際の設定を行う画面

集計設定

特定の項目毎に集計した結果を出力する事ができます。

- 申請者名
- 申請日
- 申請者メールアドレス
- 勘定科目
- 補助科目
- 経費科目 (経費入力時に表示されている科目)
- 支払先
- プロジェクト名
- プロジェクトID
- コメント
- 費用負担部署
- 所属部署

➔

集計設定

特定の項目毎に集計した結果を出力する事ができます。

- 申請者名
- 申請日
- 申請者メールアドレス
- 勘定科目
- 補助科目
- 経費科目 (経費入力時に表示されている科目)
- 支払先
- プロジェクト名
- プロジェクトID
- コメント
- 費用負担部署
- 所属部署

会計データ出力をどの様な単位で行うかを設定する。

※会計データ出力をカスタマイズしている場合は考慮不要である。

例1) 全てのチェックを外した場合
→経費毎の最小単位で結果が出力される。

例2) 上記の通り、勘定科目・経費科目にチェックをした場合
→以下のように勘定科目・経費科目が一致するものがあれば、まとめて出力される。

【例2：元データ】

申請番号	申請者	申請日	メールアドレス	勘定科目	補助科目	経費科目	金額
0001	こぐま太郎	4月1日	〇〇〇	旅費交通費	電車代	電車代	1,000
							20,000
				旅費交通費	飛行機代	飛行機代	0
				通信費	電話代	電話代	4,500
0002	こぐま太郎	4月4日	〇〇〇	旅費交通費	電車代	電車代	3,000
							10,000
0003	こぐま太郎	4月4日	〇〇〇	旅費交通費	電車代	電車代	0
0004	こぐま太郎	4月4日	〇〇〇	会議費	会議費	会議費	4,000
0005	こぐま次郎	4月1日	△△△	旅費交通費	電車代	電車代	600
0006	こぐま次郎	4月2日	△△△	会議費	会議費	会議費	5,000

【例2：出力データ】

勘定科目	補助科目	経費科目	金額
旅費交通費	電車代	電車代	14,600
旅費交通費	飛行機代	飛行機代	20,000
通信費	電話代	電話代	4,500
会議費	会議費	会議費	9,000

11. 会計データ出力形式

会計データをDr.経費精算から出力する際の設定を行う画面

摘要欄フォーマット

摘要欄のフォーマットを設定できます。
以下の特殊フォーマットが使用できます。

申請書ID:	{reportid}
申請書名:	{reportname}
事前申請書ID:	{prereportid}
申請日付:	{date}
社員ID:	{userid}
申請者名:	{username}
申請者メールアドレス:	{email}
所属部署:	{userdepartment}
利用日:	{transactiondate}
支払先:	{shopname}
上位経費科目:	{parentdisplaycategory}
経費科目:	{displaycategory}
補助科目:	{subcategory}
参加者一覧:	{companions}
参加人数:	{companionnum}
費用負担部署:	{department}
プロジェクトID:	{projectid}
プロジェクト名:	{projectname}
法人請求かどうか:	{reimbursable}
コメント:	{comment}

摘要欄フォーマット

設定例: {reportname} 申請日: {date} => 1月分経費 申請日: 2016/1/31

設定する

前ページの集計設定した単位で会計データ出力する際の各仕訳に対する摘要を設定する。
「支払先 備考」と出力したい場合は、上図の通りになる。

日本語の表現を間に挟むことも可能。

例) 参加者: {companions}/{companionnum} と設定した場合、以下の様に表示される。
→カンマ・半角スペース区切り
※人数は、自社・他社の参加者合計人数が表示される

勘定科目	補助科目	経費科目	金額	摘要
旅費交通費	電車代	電車代	1,000	
旅費交通費	電車代	電車代	3,000	
会議費	会議費	会議費	40,000	参加者: 自社: こぐま 太郎, おおぐま いちろう, こぐま 次郎, その他 株式会社しろくま: しろくま いちろう 株式会社ホッキョク: しろくま たろう, その他/12

法人請求かどうか: コーポレートカードから連携された精算対象外の経費について摘要欄に
「法人請求」と出力される。

11. 会計データ出力形式

会計データをDr.経費精算から出力する際の設定を行う画面

会計データ出力形式

出力形式を選択

勘定奉行

既定の形式に設定

Dr.経費精算上の勘定科目と、出力先の勘定科目の対応表

Dr.経費精算の勘定科目	勘定科目	勘定科目コード
旅費交通費	旅費交通費 	650 
会議費	会議費 	756 
交際費	交際費 	665 

Dr.経費精算内で使用している勘定科目と、出力先の会計システムで使用している勘定科目を紐付ける。
 ※勘定科目コードは会計システムにて使用するコードである。

2018年9月現在、出力可能な会計システムは以下である。

- ・弥生会計
- ・freee
- ・MFクラウド会計
- ・勘定奉行
- ・A-SaaS会計システム
- ・会計王（個人）
- ・会計王（法人）
- ・JDL IBEX 会計
- ・JDL IBEX 出納帳net
- ・PCA 会計X
- ・PCA 会計2000PlusV.2形式
- ・TKC財務会計システム
- ・発展会計
- ・Crew

※会計データ出力をカスタマイズしている場合は、この最下部にその内容が出力される。

税区分等の対応表

Dr.経費精算の税区分	税区分	税区分コード
非課税	非課税売上 	80 
対象外	対象外 	0 
課対仕入	課税売上分課税仕入 	10 
課税売倒	課税売上の貸倒れ 	62 
課税売返	課税売上の返還等 	61 
課対仕返	課税売上分課税仕入の返還等 	20 
課税売上	課税売上 	60 

Dr.経費精算内で使用している税区分と出力先の会計システムで使用している税区分を紐付ける。
 ※税区分コードは会計システムにて使用するコードである。

11. 会計データ出力形式

会計データをDr.経費精算から出力する際の設定を行う画面

【補足】

Dr.経費精算内の経費科目・勘定科目・税区分と会計システムで使用する経費科目・勘定科目・税区分の関係性について、以下に紹介する。

<経費登録画面>

支払先/訪問先	<input type="text"/>
経費科目	旅費交通費 ✕
税区分	課対仕入 ✕

経費科目が選択された際に税区分にデフォルト表示するものを設定する画面が以下の12.経費科目設定である。





※変更して登録された場合は、その税区分が会計データに反映される（会計システムで使用する税区分に変換された形式で反映）。

※税区分を従業員に選択出来ないようにすることも可能（15.経費入力・申請設定> 税区分入力）

経費科目設定 経費科目を追加 >								
入力時に表示する経費科目名称	勘定科目	補助科目	領収書添付	参加者入力	並び順	利用する	税区分	メモ欄テンブ…
旅費交通費	旅費交通費	-	不要	不要	100	する	課対仕入	
電車代	旅費交通費	-	不要	不要	200	しない	課対仕入	

経費登録時に選択された経費科目は、Dr.経費精算で使用する勘定科目と紐付き、システム内に登録される。その経費科目と勘定科目の紐付きを設定する画面も上図の経費科目設定である。

また、会計システムにおいて経費科目毎に補助科目を出力する必要があるれば、当設定(上図)にて同様に行う。

会計データ出力形式		
出力形式を選択	勘定奉行 ⌵	既定の形式に設定
Dr.経費精算上の勘定科目と、出力先の勘定科目の対応表		
Dr.経費精算の勘定科目	勘定科目	勘定科目コード
旅費交通費	旅費交通費 	650 
会議費	会議費 	756 

次に会計システムに出力する勘定科目とDr.経費精算内の勘定科目の紐付けを行うのが上図の会計データ出力形式である。

会計システムで使用する勘定科目が「Dr.経費精算の勘定科目」に存在しない場合、12.経費科目設定> 勘定科目設定より新しく追加し、12.経費科目設定> 経費科目設定からどの経費科目と紐づか設定することで、上記画面に表示される。

11. 会計データ出力形式

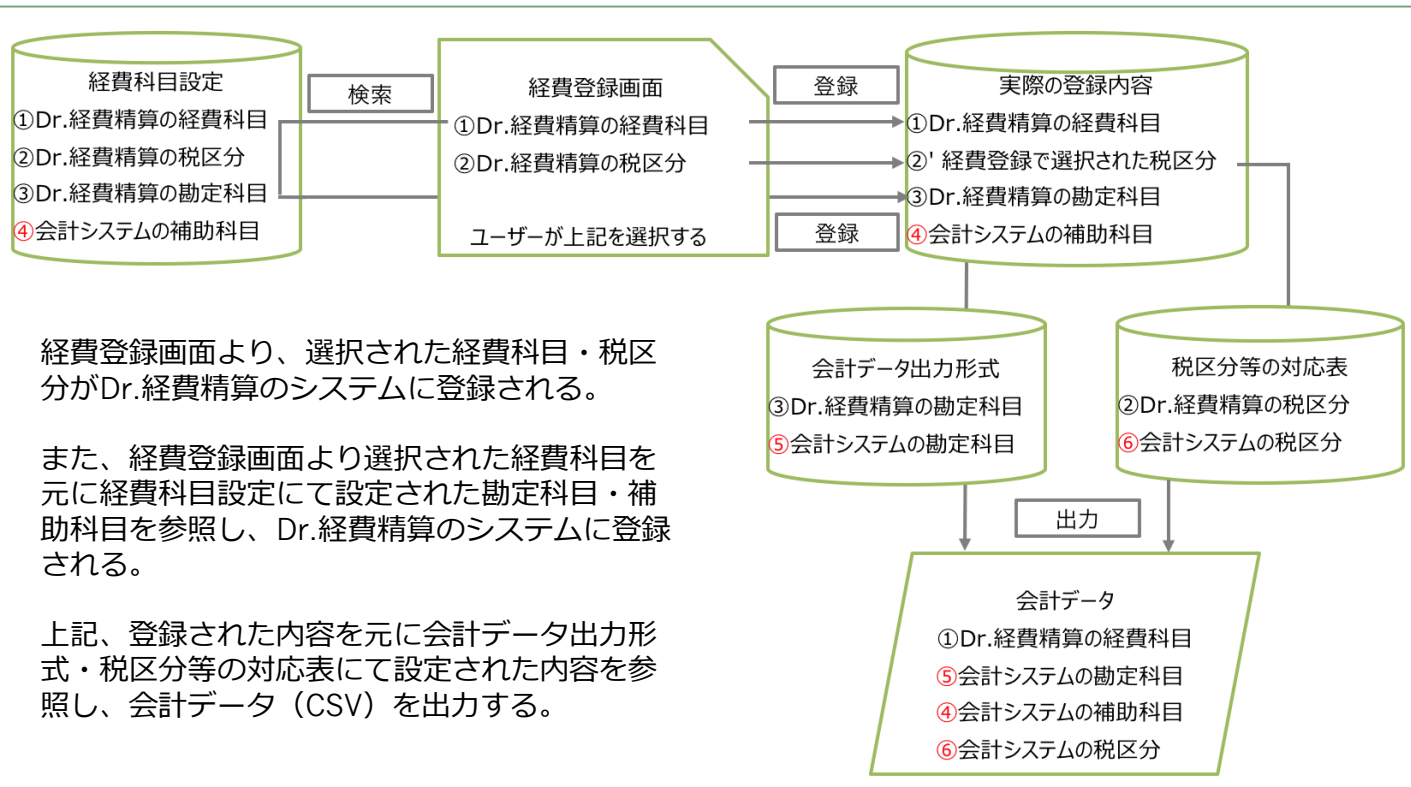
会計データをDr.経費精算から出力する際の設定を行う画面

【補足（続き）】

Dr.経費精算の税区分	税区分	税区分コード
非課税	非課税売上	80
対象外	対象外	0
課税仕入	課税売上分課税仕入	10
課税売倒	課税売上上の貸倒れ	62
課税売返	課税売上上の返還等	61
課税仕返	課税売上分課税仕入の返還等	20
課税売上	課税売上	60

会計システムで使用する税区分とDr.経費精算内で使用する税区分の紐付きを設定する画面が上図の会計データ出力形式 > 税区分等の対応表である。

【まとめ】 ※簡略記載であり、システムを表す正確な描写ではない。



経費登録画面より、選択された経費科目・税区分がDr.経費精算のシステムに登録される。

また、経費登録画面より選択された経費科目を元に経費科目設定にて設定された勘定科目・補助科目を参照し、Dr.経費精算のシステムに登録される。

上記、登録された内容を元に会計データ出力形式・税区分等の対応表にて設定された内容を参照し、会計データ（CSV）を出力する。



 Dr. 經費精算